

平成25年第14回教育委員会定例会（秘密会）

開会年月日 平成25年7月22日（月）

場 所 教育委員会室

出席者 教育委員会 委員長 内藤 幸子
同 委員 外松 和子
同 委員 天沼 英雄
同 委員 安藤 睦美
同 教育長 河口 浩

議 題

3 答申

(1) 小学校特別支援学級調査委員会および中学校特別支援学級調査委員会からの答申について

開 会 午後 2時00分

閉 会 午後 4時00分

会議に出席した者の職・氏名

教育振興部長	郡 榮 作
こども家庭部長	堀 和 夫
教育振興部参事教育総務課長事務取扱	岩 田 高 幸
同 教育指導課長	堀 田 直 樹
こども家庭部参事子育て支援課長事務取扱	木 村 勝 巳

(1) 小学校特別支援学級調査委員会および中学校特別支援学級調査委員会からの答申について

委員長

では、答申（1）小学校特別支援学級調査委員会および中学校特別支援学級調査委員会からの答申についてである。

特別支援学級で使用する教科用図書については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第14条によって、毎年度採択がえができることになっている。このため、本年4月に特別支援学級教科用図書の採択に係る調査委員会を設置し、調査・検討をお願いした。そこで、調査委員会からの答申内容について説明を受けたいと思うので、小学校、中学校それぞれの調査委員会会長に入室をお願いする。

佐藤小学校特別支援学級調査委員会会長、

柴田中学校特別支援学級調査委員会会長入室

委員長

では、お暑いところ、またお忙しいところお越しいただきありがとうございます。

それでは、最初に佐藤小学校調査委員会会長から答申内容の説明をお願いします。

小学校特別支援学級調査委員会会長

北町小学校の校長佐藤である。どうぞよろしくをお願いします。

それでは、議案第33号に関する小学校特別支援学級教科用図書の調査研究について説明させていただきます。

4月23日に教育委員会から諮問を受けた平成26年度使用の特別支援学級教科用図書の調査研究について、小学校特別支援学級調査委員会は慎重に審議を行い、7月17日に教育委員会宛答申を提出した。以下、この答申について説明させていただきます。資料をごらんいただきたい。

資料2の1である。小学校特別支援学級調査委員会は、特別支援学級設置各校に設けられた各校研究会に対し、学校教育法附則第9条にかかわる図書の研究を依頼した。また、4月から4回会議を開催し、各校研究会からの報告書を参考に慎重に研究・検討を行ってきた。

資料2の1の2ページ目をお開きいただきたい。記書きの1、調査研究を行った図書数だが、各学校の意向を尊重し126冊の図書を調査研究した。継続された候補図書が116冊、新規採択候補の図書は10冊である。種目ごとの冊数及び図書名等の詳細については7ページ以降に掲載しているのでお目通しいただきたい。

次に、記書きの2、調査研究における意見等である。図書の調査研究に当たっては、各研究校の意見を尊重するとともに、児童にとって適切であるかどうか、図書の内容を整理し調査研究した。

続いて、新規採択候補図書について説明させていただきます。同じ2ページの から まで、先ほど申し上げた10冊についてである。

まず1冊目、学習研究社の『新レインボー漢字読み書き辞典第5版(国語)』という図書であるが、これに関しては資料にも記載しているが、1つは子供たちが自分で調べる意欲につながるという点。それから挿絵が効果的であり、文字も大きいという点。書き順、例、クイズなどが載っていて、児童にとってとても興味が湧く構成になっている点。また、読み方が赤くなっていてわかりやすいといった4つの点からこれをまとめている。

2冊目、あかね書房の『もじのえほん あいうえお』については、音読するとリズムがよく、子供たちは読んでいておもしろいと感じる。また、教えたい文字が大きく書いてあって指導者にとっても児童にとってもわかりやすいものである。文字も色合いもちょうどよいものになっていることが挙げられた。

3冊目、ひかりのくにの『みんなであう どうようえほん1』に関しては、子供たちが親しみやすい歌、絵が載っている。さらには挿絵がきれいであり、楽しい挿絵で子供たちの興味を引く構成になっている。さらに手遊びの具体例が載っている。このよ

うなことから子供たちが学習するにも指導者が指導するにもよいものであるという調査研究内容となっている。

4冊目、成美堂出版が出版している『DVDでひけるはじめてのピアノ絵本 たのしいピアノのおけいこ』に関しては、知っている曲や簡単な曲がたくさん載っている点。楽譜が読めなくても弾ける曲がたくさん載っている。また、初めは鍵盤数が少ないなど段階を追っているのがよいという点が挙げられた。

5冊目、同じく成美堂出版の『DVDでひけるはじめてのピアノ絵本 たのしいピアノのうた』これに関しては、知っている曲がたくさん載っている。弾いてみたいと思う曲がたくさん載っている。また、見開きで一つの曲が取り上げられていて、それに対しての詳しい解説が書いてあってよいという点が挙げられました。

6冊目、さえら書房の『たのしいこうさくきょうしつ1』では、絵が使われていてつくり方がわかりやすいものとなっている。また、身近な材料を使っていてつくってみたいという児童の意欲をかき立てる構成になっている。さらに、ふだん遊べるようなものつくり方が載っていてよいといった点が挙げられた。

7冊目、童心社の『かこさとし からだの本2 たべもののたび』では、絵と文が合っていてわかりやすい。消化器系の働きがよくわかる。また、平仮名と片仮名だけの表記になっていて読みやすいものである。さらには、口から排泄までを物語風に描いてあるので興味が湧く構成になっている。こういった点が挙げられた。

8冊目、金の星社の『げんきをつくる食育えほん たべものだいすき!』においては、栄養とは何かを教える目標に沿った表現になっていてよい。栄養素が色別にしてありわかりやすい。文も簡単であり絵もたくさん載っていてわかりやすいつくりになっているということが挙げられた。

9冊目、童心社の『ピーマン村の絵本たち よーいどん!』という図書であるが、これに関しては、運動嫌いな子供に動いている絵を見せることによって、運動しよう、運動してみたいという気持ちにさせることができる。次はどうなるのかというページをめくる楽しさがある点。また、文が短く簡潔でよい表現になっていることが挙げられた。

最後10冊目、同じく童心社の『せんろはつづく』という図書においては、みんなで協力することの大切さが学べるという構成になっている。自分たちの身近なものをつくるという題材なので興味を引きやすい。問いかけがあるので、子供たちに問いながら学習を進めていくという内容になっている点が挙げられた。

次のページ、別紙2をごらんいただきたい。小学校特別支援学級調査委員会の審議経過等である。また、参考資料として各校研究会の研究報告を、開いていただき10ページ目、旭丘小学校から添付している。お目通しいただきたい。

以上で、小学校の特別支援学級調査委員会の答申説明を終わる。

委員長

佐藤先生、ありがとう。

続いて、柴田中学校調査委員会会長から答申内容の説明をお願いします。

中学校特別支援学級調査委員会会長

練馬中学校校長柴田である。どうぞよろしくお願いする。

それでは、議案第33号に関する中学校特別支援学級教科用図書の調査研究について説明をさせていただきます。

4月23日に教育委員会から諮問を受けた平成26年度使用特別支援学級教科用図書の調査研究について、中学校特別支援学級調査委員会は慎重に審議を重ね、7月17日に教育委員会宛に答申を提出した。以下、その答申について説明をさせていただきます。

資料をごらんいただきたい。中学校特別支援学級調査委員会が特別支援学級設置各校に設けられた各校研究会に対し、学校教育法附則第9条にかかわる図書の研究を依頼した。また、4月から3回会議を開催し、各校研究会からの報告書等を参考に慎重に研究検討を行ってきた。

では、2ページをごらんいただきたい。記書きの1、調査研究を行った図書数であるが、各学校の意向を尊重し、70冊の図書を調査研究した。継続された採択候補図書60冊、新規採択候補図書10冊である。種目ごとの冊数及び図書名等の詳細については、7ページ以降に掲載されているのでお目通しいただきたい。

次に、記書き2、調査研究における意見等である。当初の調査研究に当たっては、各研究校の意見を尊重するとともに、生徒にとって適切であるかどうか図書の内容を整理し、調査研究した。

続いて、新規採択候補図書について説明する。

1冊目、日本ペン習字協会の『もじをかこう』である。これは、書くことのスタートから使えるテキストで、字が大きく書きやすい。また読みやすく見やすい。生徒自身が楽しんで学習ができる。また、文字を書くことが苦手な生徒にとっても大変使いやすいテキストである。

2冊目、旺文社の『小学生のための漢字を覚える辞典』である。小学生というふうに出ているが、中学生の発達段階、子供の状況を考えると、漢字の意味を絵で示し、正しい書き方と筆順を理解するためにコンパクトにまとめられてよい。漢字の意味、使い方が示されていることで、より一層学習を深めることができる。漢字のとび、はねなどがわかりやすい。正しい上手な字の書き方や筆順がわかる。漢字の文字が太く大きいので見やすいといった特徴がある。

3冊目、日本ペン習字協会の『硬筆筆写テキスト』である。字形を覚えるという目的で達成されているテキストで、筆順が覚えやすく見本が見やすく、ある程度漢字を覚えている生徒により手本になる教材である。

4冊目、学習研究社の『科学の実験』である。身近なものを使っていておもしろい。読むだけでは理解できなくても、この本をきっかけに実際に実験をするなどの体験を重ねることで関心を持つ。子供たちがおもしろがるような実験がたくさん載っている。写真と絵でわかりやすい。写真が多く見やすいが、写真と説明文で内容を読み取るのは少々難しい。

5冊目、岩崎書店の『色の大研究3 色で遊ぼう』である。色の仕組み、おもしろさ、効果を学習するのに適している。色の不思議さを体験できて興味深い。写真や絵による表示の仕方がわかりやすい。カラフルなページが多く、関心を持ちやすい。「服の色の組み合わせ」は、実際に色を組み合わせることで見ることができるので、わかりやすく興味を持

つ内容である。

6冊目、国土社の『からだをまもろう、動かそう 予防とトレーニング』である。イラストが多くわかりやすく、体力測定、保健分野への学習へと広がるテキストである。絵と文章でわかりやすい表示で、ハードカバーで持ちやすいという特徴を持っている。

7冊目、学研教育みらいの『すべての子どもが必ずできる 体育の基本』である。フォームの連続写真がわかりやすく、実技のフォームづくりに役立つ。写真によるアドバイスでとてもわかりやすい。体育の基本がよくわかる。つまづきと解決方法が出ていて参考になる。写真が細かいコマ割りで載っているのだからわかりやすい。

8冊目、あすなる書房の『マナーの絵本 心をこめて春夏秋冬』である。月別、用途別になっており、家庭分野のマナーを示すのに適している。年間を通してのマナーがわかりやすく表示されている。一年中のいろいろな行事についてわかりやすい。絵が多いので興味を持ちやすい。

9冊目、あすなる書房の『テーブルマナーの絵本』である。絵を見ながらマナーを学ぶことができる。いろいろな場面でのマナーがわかる。家庭で教えられない内容も入りとてもよい。マナーの基本から細かい部分まで載っているのだから3学年で使用できる。カラフルで楽しく読むことができる。

10冊目、ぼーぐなんの『WORD BOOK 絵で見て覚える英単語』である。説明者の力量によって本が生きてくる。ある程度理解できている生徒には身近な単語が覚えやすい。単語に番号が振ってあるので、指示が出しやすい。英単語に対する日本語の意味や発音についての表現がない。絵と単語がリンクしづらい箇所があるという問題点もある。

次のページ、別紙2をごらんいただきたい。中学校特別支援学級調査委員会の審議経過等である。また、参考資料として、各校研究会の研究報告を9ページ以降に添付している。お目通しいただきたい。

以上で、中学校特別支援学級調査委員会の答申説明を終わる。

委員長

柴田先生、ありがとう。

それでは、ただいま説明があった答申内容について、各委員からご意見、ご質問をお聞きする。

天沼委員

障害の程度も個々に違うと思うが、小学校と中学校では発達段階も違う。小学校と中学校で少し方針が違うように思った。

まず、小学校であるが、この調査研究を読ませていただくと、どれも子供たちがおもしろくて興味を引くもので、私たちも見てみたい、読んでみたいという本が選ばれていると思う。そういう意味では、子供の意欲を高める、そしてその後自分でもやってみようというような気持ちを引き出すような本が選ばれていると思う。そういう意味で、子供の活動に働きかけ、先生の働きも想定しながら選択されており、よい本が選ばれていると思った。

中学校であるが、やはり学年が上がるのでややハードルが高く、調査研究でお示しい

ただいた内容も若干高くなっていると思う。十分に内容分析がされていて、生徒の理解を容易にして目的を確実に達成するという狙いのもとに選択されていると思った。学力をつけるという狙いが明らかにされた選択がなされていると思う。中には若干難しい本もある。例えば4冊目の『科学の実験』には、写真が多くて見やすいが、写真と説明文で内容を読み取るのが難しい。10冊目の『WORD BOOK 絵で見て覚える英単語』には、説明者の力量により、本が生きるという指摘がある。このような点を踏まえて、少し高い目標を目指して先生方にご指導いただけていると思っている。今回の選定はいろいろなことをご検討いただきながら生徒のためにより本を選定いただいたと思った。両先生、ありがとうございます。

委員長

ほかにあるか。

教育長

小学校の音楽の関係で、今回DVDを使ったピアノ絵本という図書があったと思う。光が丘春の風小学校の報告書に入っていたと思う。DVDの映像をどのように使って授業を行っているのか。イメージはどのようなものか。

小学校特別支援学級調査委員会会長

調査委員会の中でDVDを流して研究したが、調査研究は、図書の内容が中心になる。DVDの内容まで詳細にチェックすることができなかった。

教育長

さまざまなICTの機器を使い、子供たちに興味を持ってもらい授業を進めていくことが多い。特別支援学級に限ったことではないが、とりわけ特別支援学級の子供たちはそのようなことに興味があると思う。今回光が丘春の風小学校でDVDを使った授業を展開することになるが、関心が高く、私も見に行きたいと思った。いずれにしても、全体的には大変いい教科書を選んでくれたかなとは思っている。

若干、最初の図書の紹介の文章と、後の表の中の発行者の名前が違っているところがあった。これは整理をする中で事務局が間違ったかもしれない。これは後ほど修正してもらいた。

委員長

ほかのご意見、ご質問はあるか。

外松委員

各校で研究会を立ち上げて調査研究していただきありがとうございます。新しい図書が小学校で10冊、中学校で10冊ということで、ほんとうに子供たちの理解のためにどういう図書がいいのかということ先生方に十分研究していただいたと思っている。特に中学校の保健体育の本などは、私も早く見てみたい。先ほどの先生の説明から興味がかき立て

られた。

中学校でお聞きしたいのだが、新しいこの10冊がすべて中村中学校で取り扱うということになっている。これは中村中学校の先生方の異動が多くあったのか、それとも教育課程の取り組み方に学校全体として変化があり、新しい図書を生徒たちに与えて授業を展開したいということか、教えてもらいたい。

委員長

該当の学校の方がいらっしゃらないが、いかがか。

中学校特別支援学級調査委員会会長

これらの図書は中村中学校で研究会を行い選定した。図書を選定する際に、既存のものと新しいものを区別する意識はないと思う。新しく使用する教科書を考えていく中で、選んだものが今までに採択された図書ではなかったということだと思う。あえて新しい図書だけを選ぶということはないと思う。

外松委員

今回選んだ10冊は中村中学校の先生方がよりご自分の生徒さんの理解を深めるのに、適切であると考え、そのように判断されたと思う。

委員長

中村中学校に特別支援学級が開設されたのが最近だからか。

中学校特別支援学級調査委員会会長

そんなことはない。

委員長

では、その辺のところはまたの機会ということでよいか。

外松委員

またの機会でよい。

委員長

傾向をお聞きしたいのだが、私は特別支援学級において通常学級と同じ教科書を使うという傾向が強くなっているように感じているが、そのような傾向があるか。もし、そのような傾向があるようであれば、その理由はどういうことか。小学校では開二小をはじめいくつかの小学校で多くの教科で検定本を使用し、そこに特別支援学級用教科書を加えて使用している。中学校では旭丘中と大泉中が全教科検定本を使用している。何かおわかりのことがあれば教えていただきたい。

小学校特別支援学級調査委員会会長

小学校においては、検定本を使用している学校は少ないと思う。本校の北町小も検定本ではなく、個々の児童に合わせた形をとっている。それぞれ経験のある教員が子供たちの様子を見て選択しているのが現状である。

委員長

もちろん各学級の児童の実態に即して選んでいると思う。私が何年か見ている中で、そのような傾向があるのではないかと感じていたので、質問させていただいた。

安藤委員

これまでも特別支援学級用の教科書の一般図書の検定、採択は関わってきたが、今回初めて気になったことがある。生徒の実態に即したという理由が多くある中で、1年生に関しては、どのように情報を得て児童生徒の実態に即したという判断をされているか。2年生以上のクラスでは前年のお子さんの様子を見て判断できるが、1年生に関しては、どのように情報を得ていくのか。

小学校特別支援学級調査委員会会長

まず幼稚園、保育園からの情報がある。あとは、教員の経験をもとに、適切なものを選んでいる。実際に目を向けてみて合わないこともあるが、そのような場合は、これまでに蓄積したものから随時適切なものを提供していくことになる。

委員長

特別支援学級に通われる方については就学相談という制度があるので、そこで丁寧に学力及びその他のことについて、把握して対応していると思う。

小学校特別支援学級調査委員会会長

就学相談も有効に活用している。

委員長

さきほどの私の質問に戻るが、通常学級と同じ教科書を使ってほしいという保護者の要望があり、そのような傾向が強まっているのではないかと感じていたので質問させていただいた。

ほかにご質問、ご意見がないようであれば、ここで質問は打ち切りにしたいと思うが、よろしいか。

委員一同

はい。

委員長

それでは、佐藤会長、柴田会長には大変お忙しい中ありがとう。また、調査委員の方々、それから各校研究会の方々にも大変慎重に調査研究していただいてありがとう。どうぞ

皆様によろしくお伝えいただきたいと思う。ありがとう。

委員一同

ありがとう。

委員長

ここで、佐藤会長と柴田会長には退室していただきたいと思う。ありがとう。

佐藤小学校特別支援学級調査委員会会長、

柴田中学校特別支援学級調査委員会会長退室 -

委員長

なお、これからは教育委員会としての審議に入るので、各委員は机上に配付した見本本を点検してほしい。その後採択したいと思う。

見本本の点検